

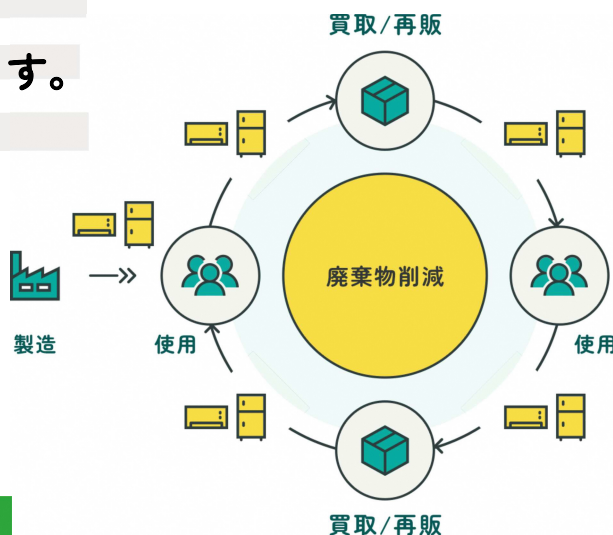
「島田市連携事業」 **早い！手軽！簡単！** に
不要品が売れるかも！

一括査定のお申込みはこちら

島田市は、連携サービス「おいくら」で
不要品のリユース(再利用)を推進しています。

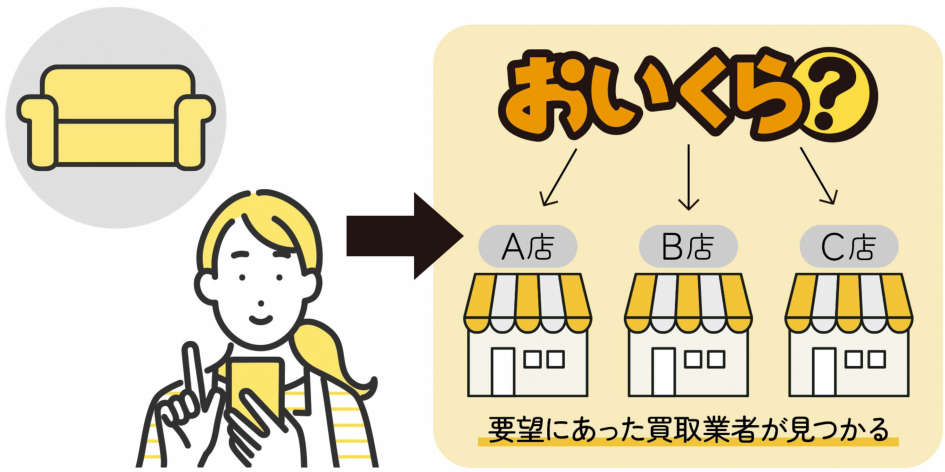
不要品を捨てる前に「おいくら」を活用してリユースを
検討してみませんか？廃棄物の削減で捨てない暮らしへ。
おいくらは全国の自治体と連携してSDGsを推進しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ちょっとまって！その不要品、売れるかも！
おいくらなら不要品を捨てるより **手軽に **早く**売れることも**

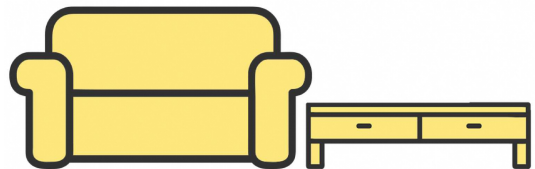
一度に複数の買取店へ無料で査定依頼を出せます。あなたの要望にあった買取店がきっとみつかる！



試しに依頼するだけでもOK！

一括査定のお申込みはこちら

自治体で廃棄する場合とおいくらサービスを比較



「二人掛け用ソファ」と「テーブル」を廃棄する場合

	一般的な廃棄例 ※1	おいくらの場合 ※2
費用	・廃棄費用がかかる	・費用をかけずに処理ができる ・売れたお金で家計の負担を軽減
日数	・回収まで1週間から1ヶ月 ・引取り対応は主に平日	・最短当日に手放せる ・土日祝日でも対応可能
手軽さ	・廃棄の手続きや処理券の購入 ・指定場所にご自身で運ぶ	・自宅から一歩も出ずに引き渡しできる ・自宅まで買取に来てくれる
環境への配慮	・ごみとして焼却や埋め立て	・捨てずに誰かに使ってもらえる ・持続可能な社会へ貢献できる



※1：処分費用や手続きは自治体によって異なりますので、詳細は自治体のホームページをご確認ください。

※2：買取店によってサービスが異なりますので、詳細は買取店にご確認ください。

※お品物（サイズや量、商品状態）や搬出時の作業内容（階段作業や分解作業等）によっては、出張作業費がかかる場合があります。

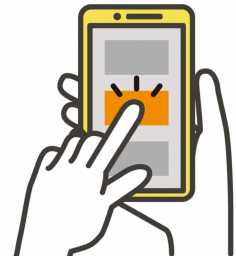
買取の流れ

一括査定は簡単4ステップ！売却をお考えのお品物があればお気軽にご依頼ください。

STEP

1

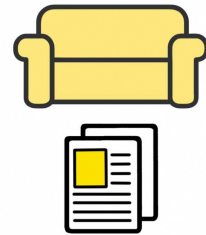
査定したい商品のカテゴリを選ぶ



STEP

2

商品・お客様情報を入力して査定依頼



STEP

3

買取店から査定結果が届く



STEP

4

希望する買取店に詳細確認・買取成立





島田市 さま

引越しにあたって自分では運ぶのや、処分が大変な家電やキャビネットを処分したくてお願いさせていただきました。

引越しまでの日数が迫っていたのですが、依頼をさせていただいてから2日で引き...
[続きを読む↓](#)

2025年04月27日

ADVANTAGE

おいくらを使うメリット

おいくらが選ばれる理由（自治体連携理由）



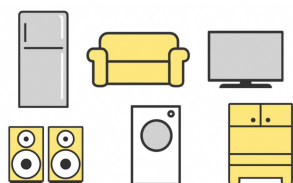
安心の東証プライム市場の
企業が運営



全国の自治体と連携



要望に合わせて業者を選べる



幅広い商品の買取可能



即日対応店も多数有り
引っ越しや急な処分が必要な方にも



買取に来てくれる業者を選べば
梱包や持ち込みの必要なし

このエリアから査定のお申込みがあった商品





電動リクライニングチェア

2025年06月19日



ギター

2025年06月11日



DVDレコーダー bdz-rx50

2025年06月11日

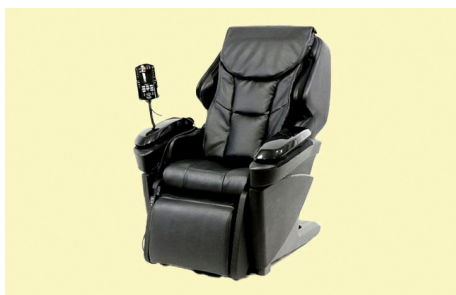


ドライヤー

2025年06月11日

PRODUCT

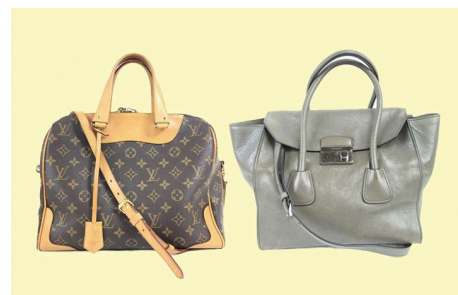
実はこんな商品も売れます！



マッサージチェア



ガスコンロ



古いブランド品

こんな商品は買取できません



飲食物・ペット関連など
衛生面において再利用不可



激しい破損や故障など
安全面において危険なもの



模造品やコピー品、盗品などの違法物

FAQ

よくある質問



P5

お困りではありませんか？

Q サービスの利用は無料ですか？

- A** おいくらは完全無料でお使い頂けます。査定依頼料や買取成立時の手数料なども不要です！
※通話料金はお客様負担です。
※お品物（サイズや量、商品状態）や搬出時の作業内容（階段作業や分解作業等）によっては、出張作業費がかかる場合があります。

Q どのようなものが買い取ってもらえますか？

- A** 買取対象品目やお品物の買取可否は、商品の状態（痛みや汚れなど）やメーカー、年式などによって判断されますが、判断基準は買取業者ごとに異なります。
一括査定へお申込後、各買取店の査定結果からご判断ください。

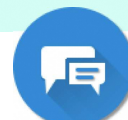
Q 事前査定の金額で必ず買い取ってもらえますか？

- A** 実物を見て査定した結果、お品物（種類や型番、傷汚れの程度）によっては買取金額の変動や、お引き取り自体もできない場合があります。
また、買取価格などの条件がご希望に沿わなかった場合は、買取を依頼しないという選択も可能です。

Q 買取店の対応や、やり取りで不安な場合はどうすれば良いですか？

- A** 「おいくら」サービスカウンターまでお問い合わせください。
担当者よりご連絡させていただきます。

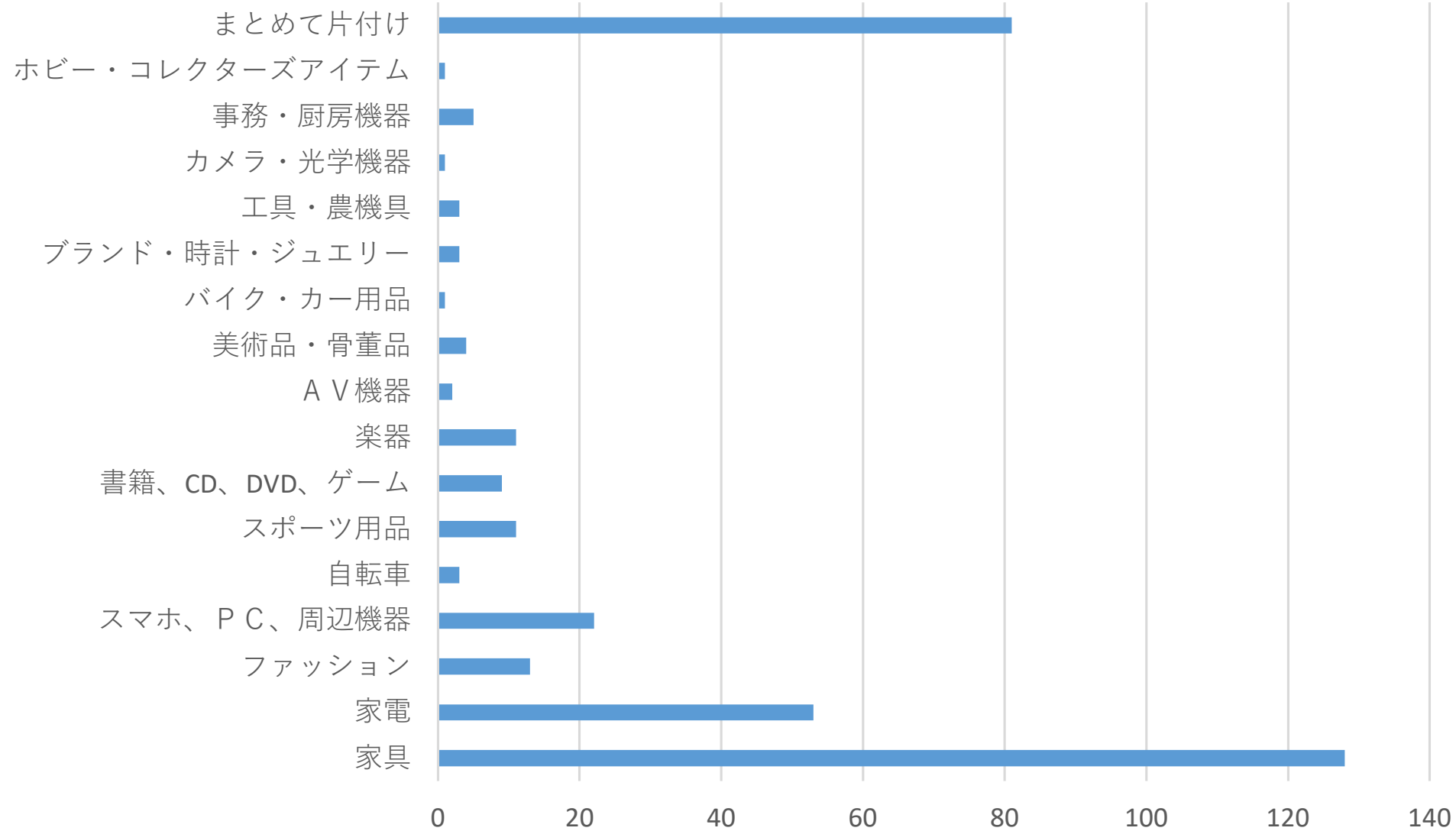
一括査定のお申込みはこちら



『おいくら?』実績

種別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計
家具	13	32	20	15	26	8	6	8					128
家電	8	6	6	14	6	8	4	1					53
ファッション	1	2	3	7	0	0	0	0					13
スマホ、P C、周辺機器	3	0	0	2	1	16	0	0					22
自転車	1	0	1	0	1	0	0	0					3
スポーツ用品	3	1	3	1	0	1	0	2					11
書籍、CD、DVD、ゲーム	0	3	0	0	5	0	0	1					9
楽器	5	0	0	2	2	1	1	0					11
A V 機器	0	0	1	1	0	0	0	0					2
美術品・骨董品	1	0	0	0	1	1	0	1					4
バイク・カー用品	0	0	0	1	0	0	0	0					1
ブランド・時計・ジュエリー	0	0	3	0	0	0	0	0					3
工具・農機具	0	0	3	0	0	0	0	0					3
カメラ・光学機器	0	0	1	0	0	0	0	0					1
事務・厨房機器	0	4	0	0	0	0	1	0					5
ホビー・コレクターズアイテム	1	0	0	0	0	0	0	0					1
まとめて片付け	13	17	0	12	4	10	12	13					81
計	49	65	41	55	46	45	24	26	0	0	0	0	351

おいくら実績



第3次環境基本計画より抜粋

取組 2 循環型社会の構築



指標	基準値 (令和3年度)	目標値 (令和14年度)
1人1日当たりのごみ排出量	844g	760g

2-1 ごみ減量・資源化の推進

①ごみの分別、減量化の推進

市民・事業者に対して、日常的なごみ減量に向けた取組の普及を図るとともに、市民参加型のごみ減量・資源化の取組を推進します。

また、食べきり運動や、企業・飲食店からこども食堂への食材提供などを通じて、食品ロスの発生抑制に向けた広報・啓発に努めます。

そのほか、使い捨てプラスチックごみの発生抑制、紙等の環境への影響が少ない素材への転換などの取組を、市民・事業者の様々な主体とともに推進します。

②3Rの推進

市民に対するごみ分別の普及を図るとともに、市民団体などによる自発的な資源物回収やフリーマーケット・バザーなどの活動を支援し、ごみの資源化を推進します。事業者に対しては、事業系一般廃棄物の資源化の取組の指導、事業系食品廃棄物等の資源化推進に努めます。

また、ペーパーレス化、行政手続きのDX化により、紙ごみを削減します。

コラム

◆ごみ処理の現状と課題及び解決の方向性（ごみ処理の有料化）について
(環境審議会答申（一部抜粋）)

令和4年9月6日

ごみ処理の課題である「ごみ減量」は、貴市が表明する「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた効果的な取組であると同時に、市民が取り組みやすい行動であると考えますが、島田市のごみの減量化・資源化における市民に対する普及啓発は充分とは言えず、ごみ減量に対する意識が市全体に浸透していないのが現状です。

また、ごみ処理の有料化においては、国が、「経済的インセンティブを活用した一般廃棄物の排出抑制や再利用の推進、排出量に応じた負担の公平性及び住民の意識改革を進めるため、一般廃棄物処理の有料化の推進を図るべきである。」と市町村の役割を定めており、ごみ減量への経済的インセンティブを提供するシステムとして「有料化」を実施する自治体が増えていることから、ごみ処理の課題解決に向けた効果的な施策の一つであると考えられます。

当審議会では、これらを総括し、まずは市民のごみ減量に対する意識の向上と行動変容を促す具体的な取組を図った上で、その経過を踏まえ、ごみ処理の有料化については検討すべきと考えます。

①前回計画目標

目標：R7に821 g
目標：H30からR 7 までに 5 %減（協議会での提言による）

	年度	数値	率
1	H30	864.0000000	
2	R1	857.7221760	0.7266%
3	R2	851.4899667	0.7266%
4	R3	845.3030406	0.7266%
5	R4	839.1610687	0.7266%
6	R5	833.0637244	0.7266%
7	R6	827.0106833	0.7266%
8	R7	821.0016237	0.7266%
9	R8	815.0362259	0.7266%
10	R9	809.1141727	0.7266%
11	R10	803.2351491	0.7266%
12	R11	797.3988425	0.7266%
13	R12	791.6049425	0.7266%
14	R13	785.8531410	0.7266%
15	R14	780.1431321	0.7266%
16	R15	774.4746121	0.7266%
17	R16	768.8472796	0.7266%
18	R17	763.2608352	0.7266%

目標値及び削減率
821 g H30から約 5 %減

推計値 ↓

比較参考（R6からR17まで）

7.7388%

②環境基本計画

目標：R14に760 g

	年度	数値	率
1	R3	844.000000000	
2	R4	835.994744400	0.94849%
3	R5	828.065417849	0.94849%
4	R6	820.211300167	0.94849%
5	R7	812.431678006	0.94849%
6	R8	804.725844783	0.94849%
7	R9	797.093100618	0.94849%
8	R10	789.532752268	0.94849%
9	R11	782.044113066	0.94849%
10	R12	774.626502858	0.94849%
11	R13	767.279247941	0.94849%
12	R14	760.001681002	0.94849%
13	R15	752.793141058	0.94849%
14	R16	745.652973395	0.94849%
15	R17	738.580529507	0.94849%

目標値

760 g

推計値 ↓

③今回計画での目標値設定

目標：R17に738 g

目標：R6からR17まで約 7 %減

	年度	数値	推計値	率
1	R6	796		
2	R7		790.54422	0.6854%
3	R8		785.12583	0.6854%
4	R9		779.74457	0.6854%
5	R10		774.40020	0.6854%
6	R11		769.09247	0.6854%
7	R12		763.82111	0.6854%
8	R13		758.58588	0.6854%
9	R14		753.38653	0.6854%
10	R15		748.22282	0.6854%
11	R16		743.09450	0.6854%
12	R17	738	738.00133	0.6854%

R 6 実績値（2025.10.1時点人口）

環境基本計画目標年度

今回目標値及び削減率

738 g

R6から約7%減

【7.2864%】

【目標値設定根拠】

- 1． 現段階で目標数値を設定している前回計画及び環境基本計画での削減目標値を根拠に各年の削減率を算出の上、それぞれ今回計画の目標年度であるR17まで推計値を試算した。
- 2． 今回計画における目標数値の設定は、環境基本計画の推計値を採用し目標値をR17 に738 gとし、R 6 の実績値796 g から逆算をすると削減率が約 7 %となる。
- 3． 今回計画で設定した目標値及び削減率については、環境基本計画の目標値であるR14の760 g を当該年度で達成する推計となっており、前回計画を基にしたR6からR17の推計削減率との乖離はほぼないため、それぞれの計画との整合はとれるものとなっている。

目標値① 総排出量-7%（収集可燃ごみ原単位-8%、直搬可燃量-11%）

		基準年度																目標年度	
項目		単位	実績値					予測値											
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度	
人口（年度末人口）		人	27,213	96,769	96,130	95,218	94,270	93,631	93,208	92,785	92,362	91,939	91,517	91,119	90,721	90,323	89,925	89,527	
収集量	可燃ごみ	t/年	25,119	24,387	24,121	23,273	22,632	22,313	22,049	21,846	21,525	21,266	21,008	20,813	20,507	20,259	20,012	19,827	
	資源ごみ	t/年	2,466	2,232	2,073	1,983	1,964	1,934	1,912	1,898	1,878	1,862	1,851	1,841	1,825	1,813	1,805	1,799	
	粗大ごみ	t/年	111	110	109	106	81	92	88	88	84	84	84	83	79	79	79	79	
小計		t/年	27,696	26,729	26,303	25,362	24,677	24,339	24,049	23,832	23,487	23,212	22,943	22,737	22,411	22,151	21,896	21,705	
直接搬入	可燃ごみ	t/年	3,004	2,769	2,891	2,704	2,531	2,506	2,480	2,455	2,430	2,405	2,379	2,354	2,329	2,303	2,278	2,253	
	資源ごみ	t/年	188	174	216	217	181	201	201	202	202	202	202	203	203	203	203	203	
	その他	t/年	99	134	61	13	6	30	27	25	23	22	21	20	19	19	18	18	
小計		t/年	3,291	3,077	3,168	2,934	2,718	2,737	2,708	2,682	2,655	2,629	2,602	2,577	2,551	2,525	2,499	2,474	
排出量 （集団回収除く）	可燃ごみ	t/年	28,123	27,156	27,012	25,977	25,163	24,819	24,529	24,301	23,955	23,671	23,387	23,167	22,836	22,562	22,290	22,080	
	資源ごみ	t/年	2,654	2,406	2,289	2,200	2,145	2,135	2,113	2,100	2,080	2,064	2,053	2,044	2,028	2,016	2,008	2,002	
	粗大ごみ	t/年	111	110	109	106	81	92	88	88	84	84	84	83	79	79	79	79	
	その他	t/年	99	134	61	13	6	30	27	25	23	22	21	20	19	19	18	18	
計		t/年	30,987	29,806	29,471	28,296	27,395	27,076	26,757	26,514	26,142	25,841	25,545	25,314	24,962	24,676	24,395	24,179	
集団回収量		t/年	1,060	964	941	750	644	644	644	644	644	644	644	644	644	644	644	644	
排出量計（集団回収除く）		t/年	30,987	29,806	29,471	28,296	27,395	27,076	26,757	26,514	26,142	25,841	25,545	25,314	24,962	24,676	24,395	24,179	
排出量原単位（集団回収除く）		g/人・日	3,120	844	840	812	796	792	786	781	775	770	765	759	754	748	743	738	
原単位増減率（R6年度比）			392%	106%	106%	102%	100%	99.5%	98.7%	98.1%	97.4%	96.7%	96.1%	95.4%	94.7%	94.0%	93.3%	92.7%	
【参考】総排出量（集団回収含む）		t/年	32,047	30,770	30,412	29,046	28,039	27,720	27,401	27,158	26,786	26,485	26,189	25,958	25,606	25,320	25,039	24,823	
【参考】総排出量原単位		g/人・日	3,226	871	867	833	815	811	805	800	795	789	784	778	773	768	763	758	
リサイクル率（集団回収含む）			17.7%	17.0%	17.2%	16.4%	16.5%	16.4%	16.4%	16.4%	16.4%	16.5%	16.5%	16.5%	16.5%	16.5%	16.6%	16.6%	

※ 四捨五入の関係で、合計が合わない場合があります。

収集ごみ原単位

項目		単位	実績値					予測値										
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
収集量	可燃ごみ	g/人・日	706	691	688	670	658	653	648	643	639	634	629	624	619	615	610	605
	資源ごみ	g/人・日	69	63	59	57	57	57	56	56	56	56	55	55	55	55	55	55
	粗大ごみ	g/人・日	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2
小計		g/人・日	779	757	750	730	717	712	707	702	697	692	687	682	677	672	667	662

意見表まとめ

No.	①ごみ収集カレンダーに関する こと
1	もう少し簡素化できないか。細かく書いてもすみまで読まないのでは。絵や図を多く取り入れて説明した方が良いのでは。
2	ごみ分別辞典をできるだけくわしく具体例を入れること。例：醤油でもペットのマークは資源。紙パックの中が銀ホイルはゴミ。
3	雑誌の分別方法
4	カレンダーの確認をしていない人が多い気がする。
5	島田市のLINEなどで通知するのはどうか？
6	分別方法がわかると処分のしかたがすぐわかって楽だと思う。
7	ごみ収集日などを1カ月ごと週ごとLINEでお知らせする。検索するよりお知らせできた方が意識はするようになると思います。年寄りなどはなかなかネットをなじみのある人ばかりではないのでゴミ収集置場に回収日、分別方法など簡単にはっておくのはどうか。
No.	②おいくらに関する こと
1	「おいくら」の意味を知らない人がほとんど。もっとアピールして欲しい。
2	自治会等に広く周知してもらうように働きかけを推進していく。（出前講座等）
No.	③食用油・古布の拠点回収に関する こと
1	食用油に関しては、多分おのおのの家庭で何らかの方法で処理していると思われる。各公会堂等に回収缶の設置を考えたらどうか。古布に関してはどの程度出して良いかわからないので捨ててしまうことが多い。なんでも良いとすれば回収は望めるが、回収後のことを考えるとそれも難しい。（程度を知らせる方法がほしい）
2	食用油は災害時にはオイルランプのように明かりに使える方法を示してやることにより、有効利用できることを示す。
3	飲食店をやっているので月1度静岡の業者さんが回収に来てくれる。個人の家では回収場所に持っていくのは大変だと思います。

4	山間部なのでしかたないと思いますが拠点が遠いので大変なことがある。
5	回収へもっていくまでの保管などなかなか面倒で忙しい日常の中で細目にやれる人ばかりではない。食用油は重いなど、もう少し回収の仕方など議論が必要。
No.	④その他の取り組みに関すること
1	減量化に関して関心のある方とない方の差がとても大きいと感じました。関心のない方にまず関心を持っていただくことが大切だと思いました。今後の環境行政のその他の意見を寄せられた方に関心しました。これらの意見をもっと市民の皆さんと共有できたらと思いました。
2	スーパーで資源ごみの回収種類がバラバラなので、できるだけ多く種類を回収するように統一してほしい。食堂での利用の際、マイ箸持参するとメリットがあるように利用を促進させる。キエー口のメリットを具体的に提示してあげる。
3	市民一人ひとりのごみに対する意識を高めていく。（ゴミ増加のリスクを訴えていく）
4	生ごみ処理キエー口のことは知っているが置く場所がないので使用できなくて。活用したい人はたくさんいると思います。
5	ごみを減らすことによる個人的なメリット等が具体的にあれば誰でもとっつきやすいと思います。一人でも多くの方がごみの減量化、資源化について興味を持てれば成果が出ると思います。
6	生ごみ処理キエー口などは知らない人が多く取り入れるにしてもコストがかかる。置く場所がないなど、不安がある。地域ごとキエー口などを実際に紹介する機会があるといいかと思います。薬局、スーパーなど普段足を運ぶ所に置いてもらったりするのも一つの手段かと思います。商工会女性部で雑紙回収をしています。結構雑紙を分別するだけでもごみ袋へ入れるごみは減ります。市で雑紙回収する予定はないですか？
	⑤食品ロスについて

1	ごみにしてもフードロスにしても住民に何回もくどいぐらい知らせることが必要。
2	食べきる。使い切る。市民の方々が心がける。そういう意識の啓発にも力を入れる。
3	農家の規格外を積極的にスーパーでわけありとして販売してもらう。企業の消費期限間近なものはフードバンクに寄付してもらう。野菜食品の保存方法を示してロスを家庭で少なくする。調理済みの野菜の保存方法も。温室効果ガス抑制のためにできるだけ有機農法を進める。化学肥料も削減する。
4	フードバンク事業はどこでどのようにやられているのか？
5	飲食店への「30.10」運動の推進、お願い等をしていく。
6	食品ロスを少なくすることは各家庭、個人の意識を高める必要があるのでは。
7	食品ロスに関して詳しく知らない人、興味がない人がいると思う。食品を無駄にしないように、もったいないことをしないようにしている人は多いと思うが、じゃあどうすればいいのか？を難しくなく簡単に子供でもわかるレベルで周知できれば結果として食品ロス削減できるのではないのでしょうか。
8	食品ロスは結局個人個人の意識ですが、フードバンクのPRは強化すべきだと思います。意識をどうすれば持ってもらえるかというアピールも必要かと思います。あと保存食の作り方、冷凍庫の利用などの紹介の仕方など難しい問題です。